

# 令和3年度 墨田区立業平小学校 経営報告書

令和4年 3月10日

学 校 目 標	教職員が一丸となって「独学自修」の精神を基調とし、「知・徳・体」のバランスのとれた子どもの育成に当たるとともに、学ぶ喜びに満ちた楽しい教育活動を家庭・地域と一体となって推進し、「地域の教育機関」として地域・保護者から信頼される学校を目指す。
目指す学校像	<p>①子どもたちが誇りにする学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が認められ、生きることの喜びと自信をもつことができる。</li> </ul> <p>②教職員が誇りにする学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究と研修を土台にして、教育者としての自信と意欲をもつことができる。</li> </ul> <p>③保護者・地域が誇りにする学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域・保護者から信頼され、業平小学校に子どもを預けてよかったと思うことができる。</li> </ul>
目指す子供像	<p>◎ 進んで学ぶ子</p> <p>○ やさしい子</p> <p>○ 元気な子</p>
目指す教師像	公立学校の教職員であることを自覚し、児童・保護者や地域社会の人々の期待と信頼にこたえられる教師。

## 1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの黒板を使用していた対面授業を充実させると共に一人一台タブレット端末を効果的に活用することで分かりやすい授業作りに努めてきた。今後も、さらなる一人一台タブレット端末を有効的に活用して、子供たちの確かな学力定着に努めていきたい。</li> <li>問題解決力など、確かな学力をはぐくむために本物を見せたり、体験学習をさせたりする活動を充実させる。</li> </ul>	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内委員会を開くなど校内で組織的に適切な支援を行っている。引き続き担任、養護教諭、SC、外部関係機関などが連携を取り、情報を共有し、校内体制を整えながら一人一人の問題の解決に向けて、取り組んでいく。</li> </ul>	A	A

様式 4

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の実態に合わせ、オンライン授業等、一人一台タブレット端末を効果的に活用していく。</li> </ul>		
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人に親身になって指導し、相談にのっている。担任だけでなく、他の教員にも相談する体制ができていますので、継続していく。これからも、将来に希望をもち、前向きに歩むことができるような児童の育成に努めていく。</li> </ul>	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であったが、実施方法を工夫し教員同士の授業観察や研修会を実施した。学年内での指導内容の統一など一定のぶれない指導を展開することができるようになった</li> <li>・2月の研究発表会に向け、授業研究、校内研修会を行うことができた。今後も、指導力・授業力を向上させていくため組織的に取り組んでいく。</li> </ul>	A	A
	その他	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語活動専門の教員を配置し、計画的に指導することができた。</li> <li>・健康3原則に係わる保健指導を強化することができた。</li> </ul>	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方は、常に最善を考えるとと思う。忙しい中、子供たちのためにがんばっている。</li> <li>・子供の持ち物や宿題忘れの状況などが個人面談の際にしか知ることができず、本人に忘れ物への危機感がない。自主自立に向け、もう少しサポートを。</li> </ul>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回行われている生活指導研修会の充実を図ったことで、支援が必要な児童への必要な情報を共有することで、一貫した方向性で指導することができた。今後も教職員が1つとなり、課題に取り組むことができるようにしていく。</li> </ul>	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業平ルールの定着を図り、基本的な生活習慣を整える取組を行った。校内ではあるが、挨拶力の向上、問題行動の減少が見られた。今後も指導を充実させ、安定</li> </ul>	A	A

様式 4

	を行っているか。		した教育活動が展開できるようにしていく。		
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に安全指導を実施したことで、日々の学校生活だけでなく、幅広い視野での気を付けることを指導することができた。今後も「新しい生活様式」を踏まえた生活指導を実施していく。</li> <li>校内安全点検などを通して、校舎の補強が必要な場所が多いと感じた。区へは引き続き要望していく。</li> </ul>	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋より学校行事毎に保護者へアンケートを実施した。今後も子供や保護者の声に耳を傾けていく。</li> <li>保護者会、個人面談の実施方法を工夫して実施することができた。今後もよりよい形を模索していく。</li> </ul>	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習だけでなく家庭でのコミュニケーションも大事だと思う。</li> <li>保護者コメントからも、問題行動のある子への対応に不満が出ている様子。学校内だけでなく、専門的な場所や家庭との密な連携も必要。</li> </ul>		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	・独学自修の校訓を大切に学校長の経営方針を基に進めている。一人一人が職務を理解し、よりよい学校経営ができるように組織体制は構築できている。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	・「進んで学ぶ子」を重点目標とし、その定着を図ることができた。児童・学年に応じた目標設定を行っているが、指導改善のための評価という意識を忘れないようにしたい。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	・全教室にインターホンを設置することができた。新しい生活様式に応じた対応を保健室やランチルームで行った。今後はランチルームも教室になるなど教室増により空き教室がなくなるので、新しい対応を考えていかなければならない。	A	A

様式 4

	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、思うように運営できない事も多いと思う。</li> <li>・児童増は喜ばしいことですが、教室増が大変だと思う。安全を確保しながら「進んで学ぶ子」の育成を進めてほしいです。</li> </ul>			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの情報発信を行い、理解を呼びかけたが、なかなか接することができない状況であり、十分とは言えない。HPや学校・学年・学級だよりでの情報発信を充実させようと努力してきた。特に、学校のHPの「校長室から」をアップさせ、発信に努めた。児童の様々な問題解決に向けて担任と保護者との連携は密にとれているが、今後は、普段の行事についての発信ができるようHPを工夫していきたい。</li> </ul>	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方々は大変協力的である。PTAとの連携を続けていく。教員はPTA活動・地域活動への協力、参加しようとする意識は高い。</li> </ul>	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域として何もできないのがとても残念。</li> <li>・コロナウイルス感染症拡大により、学校の中の様子や地域との関係性がとても薄れていると感じます。今年、105周年を迎えるにあたり、その辺を工夫してなんとか改善して行ってほしいです。</li> <li>・学校の様子や情報発信は、現在の状況ではやむをえません。早く土曜授業の自主内覧など再開を望みます。先生方の忙しが増していますので、保護者にも理解頂き子供中心に取り組み頂きたいです。</li> </ul>			

## 様式 4

### 2 令和3年度学校評価のまとめ

- ・厳しい指導も優しすぎる指導も批判される世の中で、子供たちも学習や理解度が昔より格差が大きくなっています。自主自立のためにも「あいさつ」「忘れ物」に対してはもう少し厳しく。(子供がやらなければいけない事を身にしみて感じられるように。)
- ・タブレット学習の良し悪しはすぐには判断できませんが、書く力が減り、体感・体験・経験に勝るものはないので、ここを積極的に取り組み頂きたいです。理科が続いて全国より低いところにあることが気になります。理科や科学も体感、体験で面白さが理解できるように引き続き改善して行ってほしいです。
- ・いつもありがとうございます。先生方にも子供たちにも会えない日々が続き、学校のことが分からないのでどう書いて良いのか分からなくなりました。青少年として6年間、何もできず、申し訳なくも思っています。今後は、放課後子ども教室などで少しずつかかわっていけたらなと思っております。それでは、コロナに負けずおたがいがんばって健康でいきましょう。
- ・地域の子供たちとの交流の場がなくなり、何もできない事に情けなく思う。協議会の一員である必要性も見いだせない。必要ないメンバーだと思う。
- ・現状ではなかなか学校の様子を見る機会がなく、また、先生方や保護者とのコミュニケーションをとるのがコロナ禍で難しく判断がつきません。新しい形も含めて、少しでも学校、保護者、地域が連携して子供たちにとってプラスの活動をしていきたいです。
- ・数年にわたり、コロナ騒ぎで協議会へも出席できませんでしたが、先生方のますますのご活躍を心より祈ります。
- ・年々、PTAと学校と地域のコミュニケーションが減り、距離が離れてきているように感じます。今できる形で、この三位一体をサイト構築する必要があると考えます。
- ・ヤングケアラーなる言葉を耳にします。業平でもあるのかなと・・・考えます。よろしくご指導を願います。
- ・コロナ対策が始まってから、教室から子供たちの声が聞こえる事が少なくなってきました。先生たちもがんばっているんだなと感じる事があります。なかなか学校に行く機会ができませんが、出前授業などを利用して参観したいと思います。

以上の通り報告いたします。

墨田区立業平小学校 校長 山田 明 公印